

一般社団法人静岡県設備設計協会

平成28年度第3回理事会次第

日 時：平成28年12月2日（金）

午後4時～

場 所：ホテルサンミ倶楽部

1 開 会

2 会長挨拶

3 定足数確認

4 議 事

<決議事項>

第1号議案 （一社）日本設備設計事務所協会連合会への加入について

<報告事項>

(1) 会員の入会について

(2) 委員会報告について

(3) 地区会報告について

(4) 協会経理について

(5) その他

・関係団体等の招待等案内と出欠席について

・ZEB等技術力向上講座について

・分煙技術支援事業報告について

・国土交通省中部地方整備局営繕部との意見交換会について

5 副会長総括

6 閉会

(一社) 日本設備設計事務所協会連合会への加入について

加入への流れ

①各地区会での説明と検討



②理事会での決議



③総会による決議



④加入手続き

日設事協発第 4571 号

平成 28 年 6 月 20 日

設備設計関係協会 殿

一般社団法人日本設備設計事務所協会
会長 西田 能行



一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会(仮称)の暫定正会員募集について

全国設備設計関係協会の皆様には、かねてより本会の活動に対しましてご尽力ご協力を賜っておりますことに衷心より御礼申し上げます。

本会の第 63 回定時総会が去る 5 月 30 日に開催され、平成 29 年 5 月定時総会時の連合会移行に向けて趣意、組織、運営、会費、定款・細則等の案を報告し、会場から一定のご理解を頂きましたことを、まずもってご報告申し上げます。

さて、本会の連合会への移行により、47 地区協会の上部団体として本会が果たしている役割と正会員資格との矛盾を是正します。また、連合会になることにより、国及び関係団体、官公庁からも「一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会(仮称)」が、設備設計事務所業界の中央団体として認識して頂けると考えております。

これを機に、国及び地方のエネルギー消費効率向上等の政策を支える職能団体として社会の認知度を高め、消費者の住生活向上のニーズを実現し、公共の福祉に寄与する存在として情報発信にも努めて参りたいと考えております。

皆様の総力を結集するためにも、連合会への加入を伏してお願い申し上げます。

つきましては平成 29 年 5 月までの暫定正会員を下記の要領で募集致します。

記

募集対象 暫定正会員

正会員は、設備設計事務所の開設者を社員とし、その名称中に設備設計(事務所)協会という文字を用いる法人等(任意団体含)で、当該都道府県に唯一の組織とする。

募集期間 平成 28 年 7 月 1 日より、平成 29 年 5 月連合会移行総会の前日までとする。
ただし、連合会 1 期目の役員選任に係る暫定正会員の入会申請の締切を平成 28 年 10 月 31 日までとする。

提出書類 1. 暫定正会員入会申込書(誓約文付) 様式 - 暫 1
2. 登録構成員名簿 様式 - 暫 2

以上

日設協が移行する連合会の基本事項

移行時期	平成 29 年度定時総会 日設協の定款改正案を上程 総正会員の議決権の 3 分の 2 以上にあたる多数をもって決議 移行までの間は、全ての用語に暫定と付す
主な定款改正案	名称および会員の種別
名称（案）	一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会（日設事連という）
会員の種別（案）	正会員および賛助会員の 2 種とし、準会員は廃止 正会員は、設備設計事務所の開設者を社員とし、その名称中に設備設計事務所協会（類似の名称を含む）という文字を用いる一般社団法人または任意団体で、当該都道府県に唯一の組織
正会員の入会	所定の正会員入会申込書（様式一1）及び構成員名簿（様式一2）を提出 理事会の承認
正会員入会申込	協会名称・会長名・事務局所在・TEL・FAX・E-mail・URL・構成員数 単位会基礎データとしての構成員内部資料により 就業員総数（常勤取締役および従業員（パート社員含む）） 有資格者（建築設備士、設備設計一級建築士、設備一級以外の 一級建築士、その他の資格者）の数を記載
構成員名簿	正会員は、毎年度当初の構成員を日設事連に登録 設備設計事務所登録情報および建築設備士資格保有者の数を記載 日設事連の会員名簿に、単位会の登録構成員の名称等を記載
構成員内部資料	本資料は、単位会の内部資料 単位会にて保管し、日設事連への提出は不要 国および関係団体等からの調査に備える
入会金	正会員の入会金は 10 万円 平成 31 年 5 月（定時総会）までの入会は、不要

年会費	正会員の年会費は、登録構成員 1 社あたり 2 万円
ブロック協議会	<p>6 ブロック (47 都道府県)</p> <p>北海道・東北 BLK 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島</p> <p>関東 BLK 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨</p> <p>東海・北信越 BLK 新潟、長野、富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重</p> <p>近畿 BLK 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山</p> <p>中国・四国 BLK 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、高知、愛媛</p> <p>九州・沖縄 BLK 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄</p>
役員	<p>総会の決議、出席した当該正会員の決議の過半数によって選任 理事 16 名以上 22 名以内</p> <p>うち会長 1 名、副会長 5 名、専務理事 1 名を理事会の決議で選任 監事 2 名以内</p>
理事数の割当	<p>正会員の理事数をブロック協議会に割当</p> <p>ブロック協議会ごとの構成員の総数を基に、ドント方式で割当</p> <p>構成員数の多いブロック協議会に、相応の理事数を割当</p>
理事候補者	<p>ブロック協議会は、理事の割当数に応じた理事候補者を選出</p> <p>理事候補者は、単位会の構成員</p>
運営助成金	<p>ブロック協議会には、事務手数料等として運営助成金を支弁</p> <p>ブロック協議会ごとの納入総年会費の 5% 程度</p> <p>運営助成金の連結決算は行わない</p>

暫定期間の工程	暫定会員募集	H28年07月10日～H29年05月29日（総会）
	暫定会員一次締切	H28年10月31日
	日設事連一期目の役員選任のための、ブロック協議会ごとの暫定構成員数を確定	
	理事会	H28年11月17日
	ブロック協議会ごとに、理事数をドント方式で割当	
	ブロック協議会は、割当数の理事候補者を選出 ～H28年12月22日	
	理事会、暫定連合会臨時総会	H29年01月23日
	暫定理事候補者承認	
	暫定理事会	
	暫定の会長・副会長・専務理事（暫定役員会という）の承認	
暫定役員会による平成29年度事業計画、収支予算案～H29年03月末		

募集要項に係る詳細説明

暫定正会員とする理由

H29年5月の定時総会時に連合会に移行するため、会員を募集する現時点では連合会は存在しません。

よってH29年5月の定時総会の前日までは、連合会の暫定の正会員（暫定正会員と云う）とします。

暫定正会員の年会費等

H29年5月の定時総会時の連合会に移行するまで、H28年度は現日設協の会員（正会員、準会員、賛助会員）の会費で運営します。

よって連合会の暫定正会員の入会申込による、入会金及びH28年度の年会費は発生しません。

暫定正会員の募集期間

暫定正会員は、H29年5月の定時総会時に連合会に移行するまでの期間であり、連合会へ移行後に正会員になります。よって暫定正会員での募集は、H29年5月の定時総会の前日までとし、連合会へ移行後は、正会員として入会できます。

暫定正会員入会申請の10月31日の締切について

H29年5月の定時総会時の連合会に移行後の、役員を選任しておく必要があります。連合会の役員を選任は、連合会移行報告書に従い、下記の手続きを以て行います。

- ① 理事数の決定（現日設協のH28年度理事会の議決による）
 - ② ブロックごとの構成員総数によるドント方式により、理事数を割当
 - ③ ブロックごとに、割当数の理事候補者の選出（H28年12月）
 - ④ 暫定連合会総会を開催し、理事・役員の方承認（H29年1月）
 - ⑤ 暫定連合会の役員によるH29年度事業計画および収支予算の立案（H29年3月）
 - ⑥ H29年5月の定時総会時に、連合会へ移行および理事・役員の方承認
- よって、10月31日締切でのブロック構成員総数を以て、理事数の割当を行います。

様式 - 暫 1

一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会 (暫定) 正会員入会申込書

協 会 名 称			
会 長 名	(ふりがな)		
事 務 局 所 在	〒		
TEL		Email	
FAX		URL	
構 成 員 数	社	就業者の合計 (内部資料を基に集計)	人
有 資 格 者 総 数 (内部資料を基に集計)	建築設備士		人
	設備設計一級建築士		人
	一級建築士		人
	その他の資格(上記以外)		人
<p>誓約書</p> <p>一般社団法人日本設備設計事務所協会会長 殿</p> <p>今般、貴会移行予定の一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会(仮称)の(暫定)正会員として入会するに当たり、登録構成員名簿を提出し正会員としての義務履行を誓約いたします。</p> <p>平成28年 月 日</p> <p style="text-align: right;">協会名 会長名 Ⓜ</p>			

下記の欄は、記入しないでください。

平成 年 月 日	第 回理事会承認		
入会金 円			係 Ⓜ

構成員名簿

番号	構成員事務所名	代表者名	所在住所	TEL FAX	事務所登録番号 管理技術者名	建築設備士数 (うち女性)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

(一社)日本設備設計事務所協会 連合会移行案 (Rev.1)

2016.06.20

一般社団法人日本設備設計事務所協会

(Rev.1)平成28年5月30日,全国会長会議および定時総会での質疑応答を反映
(下線部分)

はじめに

国の指導官庁と良好な関係を維持し、我が業界の社会的地位の向上と適正な業務報酬の獲得、事務所登録制度の法制化、ひいては団体の自律的監督体制を確立し、

もって建築設備の興隆に寄与するため

**全国の地区協会の総意を纏める上部団体
としての連合会へ移行する**

**業界団体としての交渉能力をいかに
発揮できる強固な組織体系を構築する**

連合会移行準備特別委員会の概要

本会の連合会への改組は、平成7年に家協会の正会員資格を個人から法人(事務所)に変更した本会の発足当時から組織検討特別委員会等で検討がなされてきました。当時は旧公益法人法のもと監督官庁の指導等もあり実現に至りませんでした。公益法人法も改正され、また平成26年から2回の全国設備設計事務所関連団体会長会議(全国会長会議)とアンケートなどにより、**40もの地区から改組の賛同**を得ました。

これを機に連合会に改組する手続きを正式にスタートすることとし、制度設計案の作成などを目的とする**特別委員会の設置が第377回理事会で承認**されました。

これにより、全国のブロック(北海道・東北・関東・東京・北陸甲信越・中部・近畿・中国・四国・九州・沖縄)から12名の委員が選出され、5名の相談役(副会長)とともに平成28年1月22日、**連合会移行準備特別委員会が設置**されました。

特別委員会の基本方針

【基本方針】

1. **地区協会の権威を高める**制度設計を行う
2. 平成27年12月15日付け「日本設備設計事務所協会
連合会(仮称)に関するアンケートの纏め(平成27年
11月30日まとめ)」を参考に、**全国の会員が求めている
ことに柔軟に応える**
3. 「直轄会員A」「直轄会員B」に配慮しつつ、適切かつ
丁寧な制度設計を行う
4. **会員資格については地区協会に絶対的な権限を付与
し、地区の実態に配慮する**

用語の定義

本稿においては以下の名称を用いることとした

(現行の名称)	⇒	(新たな名称)
日設協	⇒	日設事連
正会員	⇒	構成員
地区協会	⇒	単位会(連合会における正会員)
ブロック会議	⇒	ブロック協議会
ブロック長	⇒	ブロック協議会会長

連合会の骨子

1. 会員制度

- **構成員**... 単位会傘下の設計事務所。兼業・専業の区分などは、それぞれの単位会の判断に委ねる
- **正会員**... 都道府県に唯一の設備設計事務所協会(単位会)
- **賛助会員**... 本連合会の趣旨に賛同し、本会を支える個人、法人又は団体等

2. 会議体と議決権

- **総会**... 単位会にひとつの議決権
- **理事会**... 理事で構成：理事にひとつの議決権
- **役員会**... 業務執行理事(会長・副会長)で構成：合議制を基本とする
- **ブロック協議会**... 単位会に議決権はあるが合議制を基本とする
- **全国会長会**... 合議制を基本とする

※合議制とは... 特に決は採らず、複数の意思を統合して決定するという意味

連合会として重視するポイント

✓ 単位会(地区協会)は以下の権限を有する

構成員加入資格や会員種別、会費設定などは単位会(地区協会)の判断による。

✓ 構成員は構成員名簿登載を必須とする

構成員名簿登載制度を創設し、すべての構成員は登載を必須とする。

名簿に登載のない事務所は構成員として認めない。

✓ 連合会としての組織体系の構築

各ブロック協議会に理事を配置、単位会との連絡協調・情報交換、意見集約、役員会との意志疎通、ブロック協議会からの提言、要望などをスムーズに行う。

✓ 地域の活動を強化する

単位会(地区協会)の権威を高めるとともに、地域のまとまりを意識する。

ブロックの結束力を高めるため、活動はブロック単位で企画・開催し、

そのための運営助成金を支弁する。

単位会は以下の権限を有する

単位会(地区協会)の判断を優先する

- 単位会傘下の構成員資格
- 単位会の設備設計兼業事務所に関する取扱い
- 単位会への新規入会希望者の承認
- 単位会構成員の会員種別
- 単位会構成員の会費設定
- 単位会構成員の賠償保険加入承認

構成員は名簿登載を必須とする

構成員名簿登載制度を創設し、すべての構成員は登載を必須とする
名簿に登載のない事務所は構成員として認めない

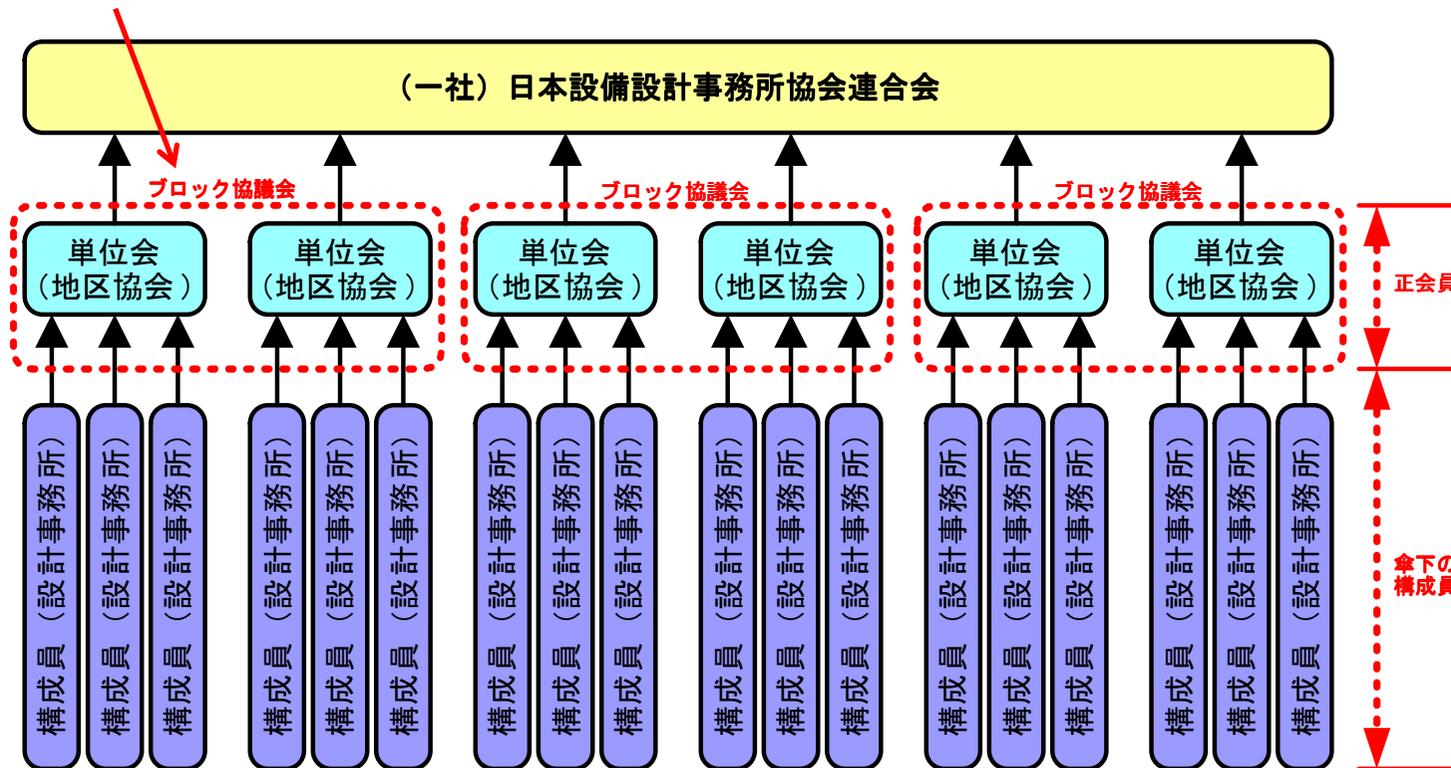
- * 連合会として自律的監督体制を強化するため、連合会に所属する構成員には名簿登載を義務付ける
- * 登載内容は会社概要だけでなく、得意分野や業務実績なども含める(※)
- * 全国設備設計事務所名簿として制作する(※)

(※)...現段階では未定です。今後、活用目的や費用対効果などについて十分に検討することとなります

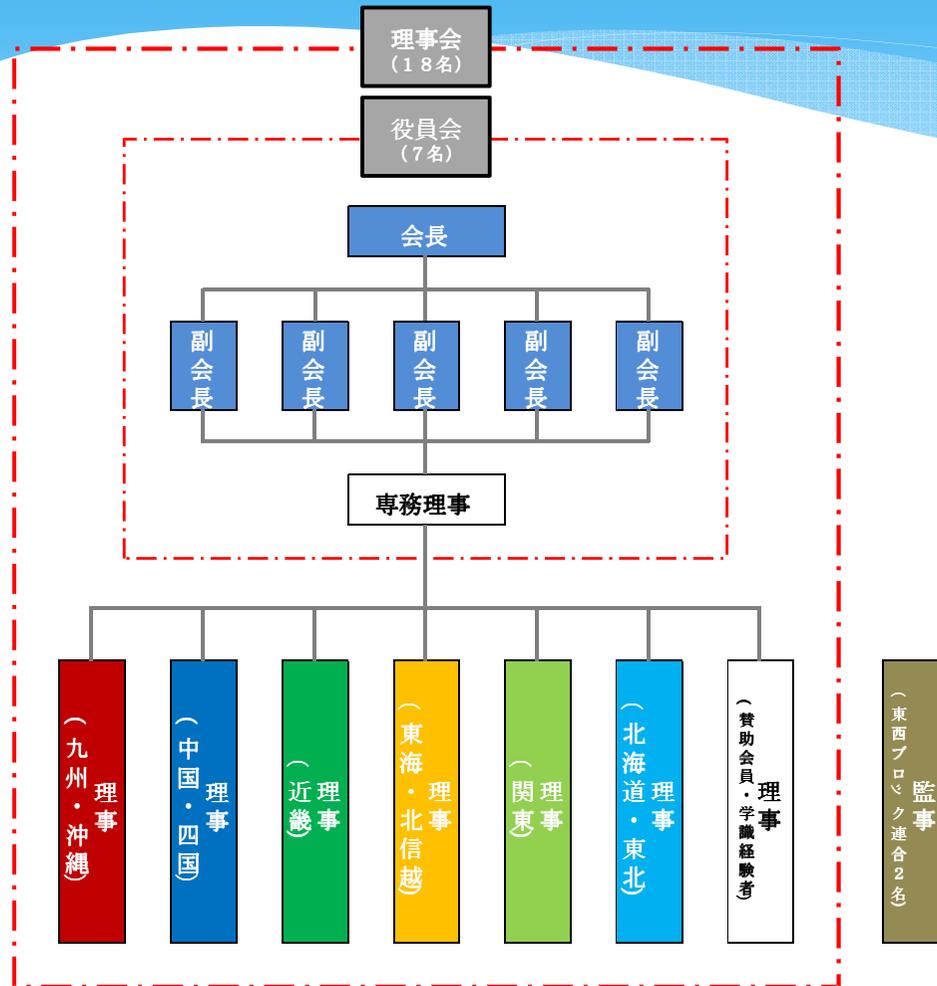
連合会としての組織体制

ブロック協議会と称し、権限を強化する

- それぞれに理事を配置
- 活動に対する運営助成金 (p.12で後述)



連合会としての組織体制



- ✓傘下の構成員数による**ドント方式**で各ブロックに理事を配分する
- ✓ドント方式で選出された各ブロックの**理事の互選**により**会長**を選出する
- ✓会長は**理事の中から副会長**を選出
- ✓理事総数は、22名以内
(うち員外理事2名)
 - 会長(1名)
 - 副会長(5名以内)
 - 専務理事(1名)
 - 理事
- ✓監事(2名)

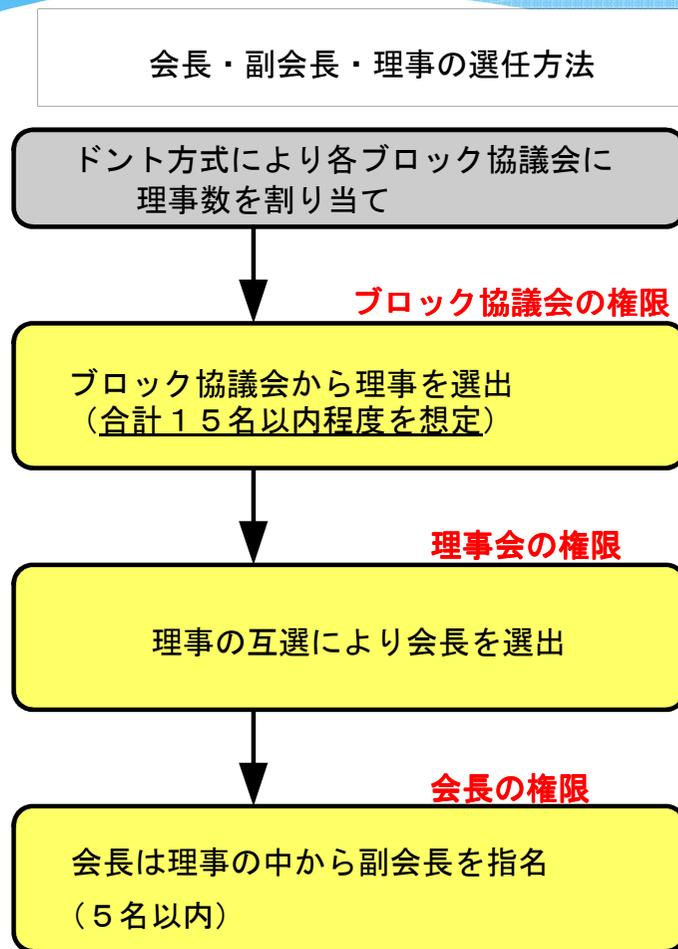
連合会としての組織体制

【要点として】

- * 連合会ではブロックを「**ブロック協議会**」と称し、現行のブロックとは重みが違うことを強調する
- * **各ブロック協議会に理事を配置**、単位会との連絡協調・意見集約、役員会との意志疎通、ブロック協議会からの提言、要望などをスムーズに行う
- * 意見集約はブロック単位で行う
- * 地域の結束力を高めるため、活動はブロック単位で企画することとし、そのために**運営助成金を支弁(※)**する

(※)... 現段階では年会費の5%程度、使途の報告などは不要(領収書のみを発行)を想定していますが、今後の検討課題とします

役員を選出方法の概要



【候補者の要件として】

■ 会長...

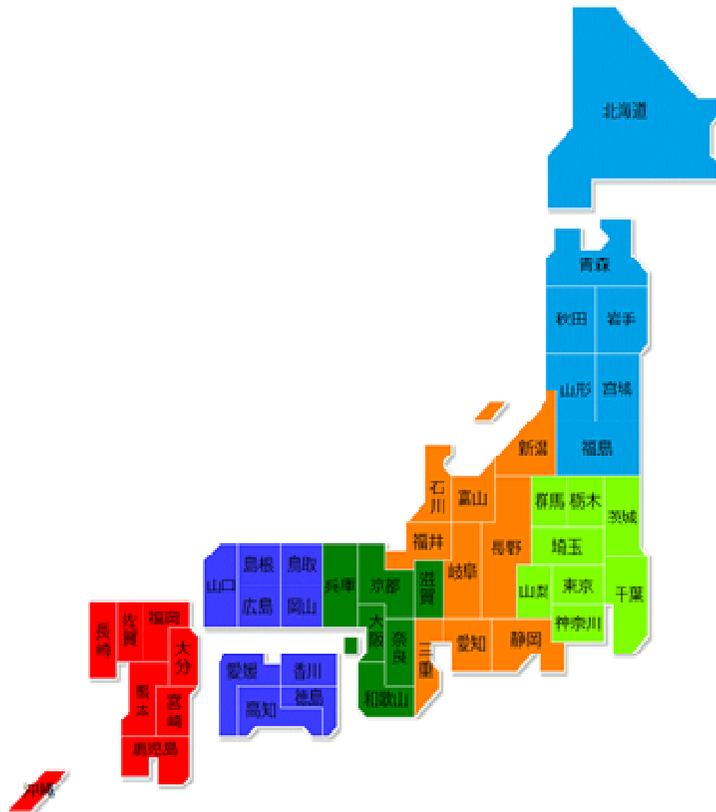
日設事連の役員経験者

単位会の会長および会長経験者

■ 副会長...

単位会の理事および理事経験者

ブロックの再編



■北海道・東北ブロック

北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島(7道県)

■関東ブロック

茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨(8都県)

■東海・北信越ブロック

新潟、長野、富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重(9県)

■近畿ブロック

滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、(6府県)

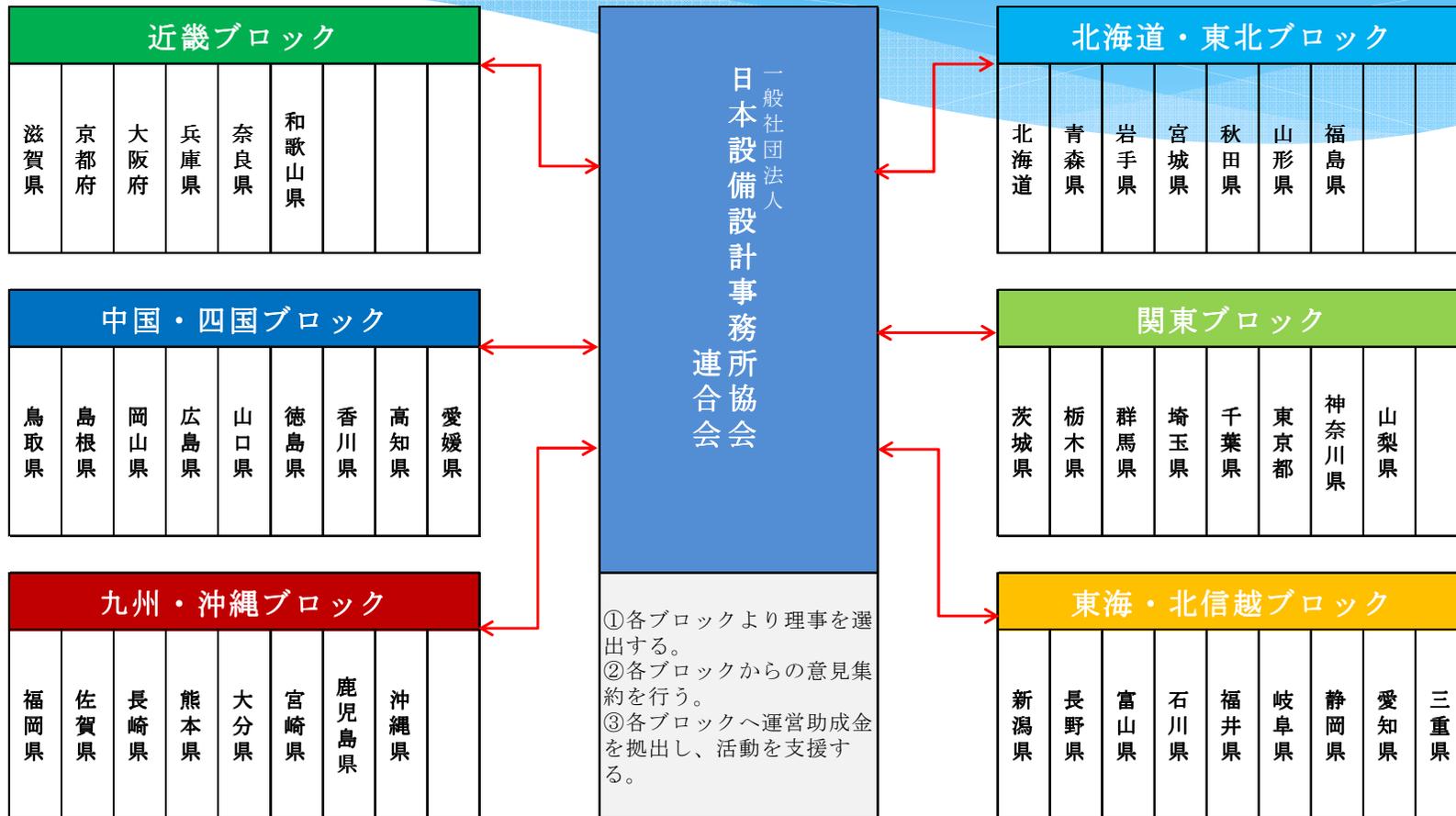
■中国・四国ブロック

鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、高知、愛媛 (9県)

■九州・沖縄ブロック

福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄(8県)

ブロックの再編



ブロック協議会の活動強化

【(例) 活動のイメージ】

	連合会	ブロック協議会	単位会
1月	新年のつどい		新年のイベント
2月		ブロック協議会	
3月			
4月		セミナーなど	
5月			総会
6月	総会	ブロック協議会	
7月			
8月		見学会など	
9月			
10月		ブロック大会	
11月	設備士の日イベント		
12月		発注者との意見交換会	忘年会

※理事会、各種委員会などは除く

- * イベントや活動などは地域に密着してブロック単位で企画し、地域としての結束力を高める
- * ブロック協議会での活動を強化するために**運営助成費**として一定額を支弁(P.12前述)する。

会費の考え方

- * 会費は単位会の構成員あたり20,000円／年として計算する
- * 会費の計算根拠となる単位会に所属する構成員数は、**構成員名簿により管理**する
- * 入会金は100,000円とする。
 - ✓平成31年5月までに入会するものは入会金を免除する

発足までのスケジュール

【スケジュール】

平成28年5月	連合会草案を地区協会へ配布
平成28年6月	会員募集の開始
平成28年10月末	会員募集の締め切り
平成28年11月	ドント方式で理事数をブロックに割当て
平成29年1月	連合会の <u>暫定臨時総会</u> 、 <u>暫定理事会</u> 開催
平成29年5月	連合会へ移行

Q&A

Q1:日設協(本会)の直轄会員A(地区協会に所属する本会会員)及び直轄会員B(地区協会に所属しない本会会員)について、連合会移行によりどのような扱いになるのか

A1:会員資格制度上、個人事務所の連合会直轄所属は認められません。

よって直轄会員Aは、所属する地区協会が連合会に入会しない場合は会員資格を喪失することとなります。

また直轄会員Bは、連合会に入会する地区協会の構成員にならない場合は会員資格を喪失することとなります。

Q2:本会の非会員C(地区協会に所属する本会非会員)が、地区協会が連合会に入会することにより地区協会を離脱しかねない

A2:非会員Cの問題は、地区協会(単位会)に権限があり、判断を委ねることとなります。

Q&A

Q3:地区協会に兼業の正会員が存在するが、構成員として認められるか

A3:構成員資格の解釈については、地区協会(単位会)に権限があります。

Q4:法人でない任意の地区協会の連合会への入会について

A4:都道府県(地区)に一つの単位会(設備設計事務所協会)であれば名称(設備設計事務所協会)及び法人については、任意とします。また、地区に複数の団体が存在する場合は、当該地区内で協議いただいた上で、同一地区内でひとつを原則とします。

Q5:連合会の恩恵を受けにくい小規模事務所に対して、どのような配慮があるのか

A5:ブロック協議会を活性化するなど地元根付いた活動を強化し、情報交換や地域の発注機関などへの交渉能力を高めます。また全国設備設計事務所名簿などを作成し、受注機会の向上をめざします。

Q&A

Q6:建築設備士を保有する事務所だけで連合会とし、その他は準会員としてはどうか

A6:連合会では準会員制度は馴染まないため認められません。

Q7:議決権を放棄してでも会費負担を軽減してもらいたい

A7:議決権のない正会員(単位会)は、法人法上認められません。

Q&A

Q8:指導官庁と太いパイプを持ち、事務局及び会計を管理する専務理事を新たに雇用してはどうか

A8:連合会の大きな役割を果たすために必要な存在であると考えます。ただし、連合会移行を議論してきた現在の状況では、指導官庁出身者の雇用は断念せざるを得ません。当面は、東京近郊に在住する公務員(地方を含む)出身者等で、費用及び効果ともモールスタートとして考えることとします。

Q&A

Q9:入会金はなぜ必要なのか、金額はどのように設定したのか

A9:入会金の考え方は以下によります。

- 平成28年度終了時の残余財産は約2千万円と予測され、移行する連合会に引き継がれます。
- 連合会が清算する場合において有する残余財産は、公的機関に贈与することとなります。
- 正会員(単位会)は、残余財産の処理に係る総会の決議権を有する資産の権利者です。
- 入会することにより、正会員(単位会)当たり約45万円の資産権利者となります。

上記により連合会の入会金を45万円として検討しましたが、単位会の経費負担軽減を考慮して入会金(10万円)の納付を規定することとしました(賛助会員は不要)

但し、正会員(単位会)の連合会移行に係る複雑な事情に配慮して、平成31年5月までの入会正会員は、入会金を免除します。

Q&A

Q10:定款や定款細則をはじめ、役員選任規定、就業規定、旅費規程、経理規定などは、確定されたものと解釈して良いか

A10:定款や定款細則、役員選任規定については現時点では(案)であり、連合会へ正式に移行する平成29年の定時総会で承認されることとなります。それまでに単位会各々の意見を取入れ諸規定の整備とともに細部調整を行います。

現時点における検討課題(例)

・定款(案)第9条(除名)

会員除名規定に「除名にあたっては当該会員に弁明の機会を与える」を入れるような配慮は必要ないか

・定款細則(案)第3章

「設備設計事務所協会全国会長会」とあるが、連合会では正会員が各地区代表者になるため重複することにならないか

Q&A

Q11:1次募集期間である10月末までに構成員名簿を提出することについて、
連合会正式移行の来年5月までに構成員数の増減が生じた場合はどのような扱いになるか

A11:10月末時点での構成員数によるドント方式で理事数を決定することとなります。

また平成29年4月1日付けで掲載された構成員数で年会費を請求することになります(定款細則(案)第10条2項)。

請求後に増減が発生した場合はその都度対処することとなります。

Q&A

Q12:賠償責任保険制度について、連合会移行後も変わらないと理解してよいか

A12:現在は日設協が団体保険加入者になっているため、その傘下にいる設備設計事務所が加入できます。連合会移行後は会員が単位会となるため、単位会に所属する構成員が加入できることとなります。

Q13:構成員名簿は加入申し込みと同時に提出する必要があるか

A13:複雑な会員制度を抱えて、「簡単に構成員名簿は出せないが、入会は決まっている」という単位会もあると思います。その場合はまず入会申込書を提出していただき、後で構成員名簿を提出していただいて構いません。ただし10月末を期限とさせていただきます。

連合会移行準備特別委員会 活動報告

- * 平成27年12月25日 第377回理事会において、特別委員会発足を承認
- * 平成28年1月22日 連合会移行特別委員会発足
- * 平成28年2月15-16日 第1回連合会移行特別委員会
- * 平成28年2月29日 第1回運営小委員会(西日本委員会)
- * 平成28年3月3日 第1回経営小委員会(東日本委員会)
- * 平成28年3月11-12日 第2回運営小委員会(西日本委員会)
- * 平成28年3月31日 役員会への検討経過報告(1)
- * 平成28年4月11-12日 第2回連合会移行特別委員会
- * 平成28年4月27日 役員会への検討経過報告(2)
- * 平成28年4月28日 理事会への検討経過報告
- * 平成28年5月23日 特別委員会正副委員長会議
- * 平成28年5月24日 役員会への検討経過報告(3)
- * 平成28年5月30日 理事会への上程、全国会長会議、定時総会で説明

会員の入会について

正会員

オフィス a k 赤堀智和

入会申込書の提出日	平成28年	6月20日
理事会での審議、承認日	平成28年	7月15日
入会審査通知書の通知日	平成28年	7月19日
入会金及び年会費入金日	平成28年	8月5日

賛助会員

(株)アオイテレテック

入会申込書の提出日	平成28年	6月29日
理事会での審議、承認日	平成28年	7月15日
入会審査通知書の通知日	平成28年	7月19日
入会金及び年会費入金日	平成28年	7月22日

委員会報告について

1 報告期間

平成28年7月16日から平成28年12月2日まで

2 報告内容

(1) 総務委員会

①県設備課との意見交換会を開催した。

月 日 平成28年10月7日（金）15:00～17:00

場 所 静岡市産学交流センター 演習室1

②会員交流会（忘年会）本日開催

月 日 平成28年12月2日（金）～3日（土）

場 所 ホテルサンミ倶楽部（熱海市）

(2) 技術委員会

①第2回技術委員会を平成28年7月29日（金）に開催した。

②技術講習会を開催した。

月 日 平成28年10月28日（金）13:30～16:30

場 所 静岡市産学交流センター プレゼンルーム

③第2回共同事業推進委員会を平成28年11月11日（金）に開催した。

月 日 平成29年2月24日（金）～25日（土）

研修先 三菱電機(株)冷熱システム製作所「技術棟」

和歌山県和歌山市手平6丁目5-66

(3) 広報委員会

①第4回広報委員会反省会を平成28年10月7日（金）に開催した。

(4) 特別委員会

①第3回特別委員会を平成28年11月21日（月）に開催した。

静岡県設備課との意見交換会の記録

一般社団法人 静岡県設備設計協会
総務委員長 名波 睦生

- 日時：平成 28 年 10 月 7 日（金曜日） 午後 15 時～17 時
- 場所：静岡市産学交流センター7階演習室 1
- 参加者

県側（経営管理部財務局設備課）：課長 黒柳正巳 技監 石田高久
課長代理 内山武志
技術班班長 石川達也 電気班班長 石黒義英
機械班班長 刑部 稔

協会側：会長 三ツ井幹雄 副会長 植田賢司 専務理事 山森繁
理事 名波睦生 佐野富士雄 甲斐裕士
相談役 小林康秀

○意見交換会内容記録 ※県：県設備課側より、協：協会側からの発言
協会提案

1.設計委託基準（入札と見積及び随意契約の区分・指名業者数・指名業者選定基準）について

県：入札があくまでも原則です。予定価格（税込）が100万円未満については、随意契約、100万円以上500万円未満については、最低制限価格の設定・最低制限価格の補正が有ります。補正率は0.8

県HP「建設業のひろば」の「業務委託最低制限価格制度要領」等を読んで下さい。

500万円以上については、低入札価格調査が有ります。

県HP「建設業のひろば」の「静岡県建設関連業務委託に係る低入札価格調査試行要領」等を読んで下さい。

2.県・市等の願い通知申請の一本化について

協：2年に1回の提出は思った以上に大変で面倒な作業、県・市どちらかに出せばOKなことにならないか。若しくは、一度出せば辞める時までOKにならないか

県：昨年も同様の意見がありましたが、1年で変わった事はありません。

県と市の両方に必ず出しているとは限りませんし、それぞれに違った内容となっていますので一本化には出来ません。

資格要件には、年ごとに事業所の内容が違ってくると思いますので2年に1回の提出をお願いしています。

3. 産廃計算書の利用範囲の拡大について

協：設備工事の産廃見積徴収は非常に難しい、産廃計算書は非常に有り難いことです。これを他でも利用できるようにならないでしょうか。

県：これも昨年出ている意見ですが、回答内容は変わりません。

県の規定でやっている事なので、それを市町が承諾しているのであれば使用は差し支えないが、課内取扱としているので市町で使えるようなことはしていません。

4. リービック単価の各市・町の独自単価利用について

協：各市・町によって独自のリービック単価があると思います。この単価を使用出来るようになれば非常に便利です。(例) 静岡市は防臭柵が必要

県：県発注のものは県のリービックデータ、市発注のものは市のリービックデータとそれぞれのものを使用して下さい。

単価の定め方は物価版から発注機関が価格調査をしています。

それぞれが独自にデータを使っているので発注機関のデータを使用して下さい。

5. 見積依頼リスト・見積依頼先リスト提出の必要性について

協：見積依頼リスト及び見積依頼先リスト作成は思った以上に大変で面倒な作業です。

県：大変で面倒な作業ということについては、効率化していくことが良いと思います。(例：ワードで差し込み印刷機能を使う等) 協会で講習会を行う等するのも良いと思います。

6. 県の仕事に対する、会員と非会員の違いについて

協：最近の分離発注者をみると、非会員が多く受注しており専門外の事務所(電気、機械)が受注しているケースも多く見受けられます。業務上は問題ないのででしょうか。

県：毎年、事業所に調査票を提出してもらっており、それを基にしているので専門外の人が受注しているということは無いと思います。今のところ問題はありません。

非会員が多く受注しているという件は、指名者の非会員の率が高くなっているという事ですので、会員を増やすとか、指名参加の割合を増やす等で会員の率を高くする方法があると思います。

7: 設備設計事務所に何を期待しますか

協: 県内設備設計事務所と大手設計事務所との評価が異なるような気がします。

同じことを提案しても、県内事務所の提案は採用されず大手事務所の提案は採用されるような気がします。

県: 事務所の所在地や規模によって評価が変わることは無く、技術的にどうかを見て決めます。

新しい提案については、結果が出てきているようなものであれば、県も採用したいが、結果が分からないものには難しいところがある。

慎重になりすぎないようにしたいと思います。

8: 県有施設の既設図面の管理一元化について

協: 設計がデータ化（CAD化）して久しいですが、改修設計等にあたって、以前図面のないことが多く見られます。紙ベースのものを施設ごとに管理するのではなく一元化して速やかに提供されることを望みます。

県: 古い図面をCAD化して一元化するには、費用の面での問題があり、まだできていません。少しずつではありますが、一元化していくようにしています。

県では年度と工事毎に管理をしています。施設毎の管理はしていません。

改修工事等の時にCAD化し、一元管理をしていきたいと思っています。

9: 県設備課様は当協会をどのように見えていますか。また、当協会に期待するものは何ですか。

協: 協会員として、協会の地位向上や会員の増員等に努力をしていく所存ですが、どう対処すべきかを設備課様から見てのご意見ご指示等ありましたら、是非お力添えを頂きたいと思っています。

県: 県が発注するものを協会員にというのは出来ませんが、協会員への信頼度は高いものがあります。

協会に期待するものとしては、全国の設備設計者の地位向上に繋がるような活動をお願いしたい。

また、会員数を増やし、活動内容を魅力的なものにして欲しいと思っています。

日設協が連合会となり、静岡県協会も加入となればそれによる新たな活動内容もあると思います。（例えば損害保険の取り扱い窓口等）

その他

入札の不落について、工事額から過去のデータを用いたが、工事内容が違っていたために不落となるケースがあります。仕様書、委託料算定基準をよく見るようお願いします。

県設備課との意見交換会（H27.10.7（金））経費計算書

予算

摘要	内容	金額
賃借料	会場費	5,000
旅費交通費	参加会員交通費	25,000
合計		30,000

支出

年月日	支出先	内容	金額
H28.5.18	静岡市産学交流センター	会場使用料	3,700
H28.10.7	三ツ井幹雄他6名	出席交通費	15,000
H28.10.7	しずてつストア 新静岡セノバ店	意見交換会用 お茶代	1,458
H28.10.7	静岡グランドホテル中島屋	反省会費用	28,000
合計			48,158

会員交流会予算書

開催日 平成28年12月2日(金)

場 所 サンミ倶楽部(熱海市)

・収入

会員交流会会費

20,000円×32名=640,000円

27,000円×1名=27,000円

10,000円×12名=120,000円(日帰り)

協会予算 60,000円

合 計 847,000円

・支出

宿泊費(一泊二食) 13,500円×33名=445,500円

ルームチャージ費 7,000円×1名=7,000円

宿泊無し者費用 10,800円×12名=129,600円

宴会飲み放題費 3,240円×45名=145,800円

パーティー 20,952円×5名=104,760円

アテンダント

入湯税 150円×33名=4,950円

予備費 9,390円

合 計 847,000円

平成28年度第2回技術委員会
議事録

日 時：平成28年7月29日（金）17時～
場 所：（一社）静岡県設備設計協会事務所

1 開 会

技術講習会打ち合わせ

2 議 事

(1) 技術講習会『演題』について

第一部は【最新の水槽周辺システム機器について】

【最新配管システムについて】

第二部は【公共施設用照明器具標準 JIL5004-2016 年版の改正内容について】
とする。

上記については各講演者側に確認をする。

(2) 技術講習会のタイムスケジュール。

別紙仮次第による。

(3) 講習会案内について

配信日は9月20日（火）とする。

配信先は正会員、賛助会員、設備協会および各官庁とし、正会員以外の設備設計関係者の案内受講については検討の結果、認めないこととした。

・検討の内容

会員増強には協会を知ってもらうことが重要であり、講習会は良い機会であるので、会員外と同業者に案内を出したらどうかという案があった。

理事会でその旨について意見を求めたところ、会員外の受講者は有料とし、案内先等については委員会で検討するのが良いのではないかとの意見があった。理事会での意見を基に、案内先の選定や受講希望者の数がどの位あるのか、また有料となった場合の受付での対応等を検討したが、案内先の選定が難しいこと、会員のメリットとして無料講習会を開催しているところへ、会員外受講者を有料とはいえ入れることでメリットとしてどうなのか等意見があり、今回は、会員外の設定設計関係者の案内受講を認めないことにした。

官庁関係配信担当者

浜松市は齊藤副委員長、静岡市及び県は小林委員、東部市関係は佐野委員長が書面でご案内をする。

(4) 当日の役割その他

集合時間 12:45

司会 佐野委員長

パソコン設定・確認 大塚委員

受付 3名程度、当日の出席委員が対応

(5) 用意するもの

受講者用お茶（ペットボトル 350ml）事務局

講演者謝礼（お土産お茶）事務局

その他

- ・当日出席する委員の数を早めに把握する。少ない場合は、中部地区の会員に応援を頼む。
- ・事務局は講習会前日に講演依頼先に確認をすること。
- ・事務局は開会の挨拶と閉会の挨拶を三ツ井会長と植田副会長にあらかじめお願いしておく。
- ・受講者数は70名を目標とする。

平成 28 年度技術講習会次第

主催：一般社団法人 静岡県設備設計協会

日時：平成 28 年 10 月 28 日(金)

13:30~16:55

場所：静岡市産学交流センター
プレゼンテーションルーム

司会：技術委員長 佐野富士雄

13:00 受付開始

13:30 開会の挨拶 一般社団法人 静岡県設備設計協会会長
三ツ井幹雄

13:35 第一部講演開始 1. 【給水タンクの耐震性と更新工法について】
講師 積水アクアシステム株式会社 給排水ソリューション事業部
東京営業部 部長 柴山 信重 様

2. 【最新配管システムについて】
講師 積水化学工業株式会社 環境ライフラインカンパニー
東京支店 2020 特命プロジェクト
担当課長 大橋 拓平 様

15:15 第一部講演終了
休憩

15:30 第二部講演開始 【公共施設用照明器具標準 JIL5004-2016 年版の
改正内容について】
講師 一般社団法人日本照明工業会 認証部
部長 山田 憲幸 様

16:50 第二部 講演終了

16:50 閉会の挨拶 一般社団法人 静岡県設備設計協会副会長 植田賢司

16:55 終了

■事業報告

【技術講習会】

実施日時：平成28年10月28日（金曜日）13時30分～16時30分

場所：静岡市産学交流センター プレゼンテーションルーム

受講者：60名 参加者：61名（事務局1名）

静岡県6名、静岡市1名、富士市2名、正会員21名、賛助会員24名
設備協会6名

第一部演題・・・1.『給水タンクの耐震性と更新工法について』

講師：積水アクアシステム株式会社 給排水ソリューション事業部
東京営業部 部長 柴山 信重 様

2.『最新配管システムについて』

講師：積水化学工業株式会社 環境ライフラインカンパニー東京支店
2020 特命プロジェクト 担当課長 大橋 拓平 様

第二部演題・・・『公共施設用照明器具標準 JIL5004-2016 年版の改正内容について』

講師：一般社団法人日本照明工業会 認証部 部長 山田 憲幸 様

総評

静岡県庁、静岡市、富士市の関係職員様、賛助会員、正会員の多くの出席をいただき最新情報の提供を行ないました。

第一部では給水設備の主要機器である水槽について改めて学習をしました。耐震性、震災時の運用方法など東日本大震災時の具体例など上げて説明をしていただきました。また、更新の手法についても最新の【FDNS 工法】での不断水工法を紹介されました。日頃の設計業務ではなかなか考えることのない視点から講習で皆様のお役に立てたのではないかと思います。

第二部においては JIL（公共施設用照明器具）改訂 2016 年版の開設を一般社団法人日本照明工業会より解説があり、公共事業に携わるわれわれの実務に関わる講習が行われました。一部・二部とも、とても有意義な講習会となりました。

技術講習会（H28.10.28(金)） 経費計算書

予算

摘要	内容	金額
旅費交通費	講師旅費	10,000
印刷製本費	テキスト印刷代	30,000
賃借料	会場費	20,000
諸謝金	講師謝礼	30,000
合計		90,000

支出

年月日	摘要	内容	金額
H28. 4.27	静岡市産学交流センター	会場使用料	21,240
H28.10.21	竹茗堂	講師土産お茶代	15,400
H28.10.24	しずてつストア	出席者お茶（ペットボトル）	7,614
H28.10.28	稲川駐車場他1件	駐車代（資料等運搬）	1,300
合計			45,554

出席者数 60名

申込者数 71名

内当日欠席 11名

事前申込なしの出席者 0名

平成28年度第2回共同事業推進委員会報告

日 時：平成28年11月11日（金）17時～
場 所：（一社）静岡県設備設計協会事務所

1 共同事業視察旅行について

(1) スケジュールの再確認。

実施日時 平成29年2月24日(金)から25日(土)

集合場所 JR 静岡駅南口 出発時間 AM8:00

(2) 研修先 和歌山県和歌山市 三菱電機(株)冷熱システム製作所

(3) 現行の予約では宿泊ホテルがツインでの使用が生ずるため近傍の別のホテルを利用してもシングルにする。

(4) 行程中のお弁当、料理の選択については福島さんにお任せする。

(5) 今回の計画では参加人数40名を目標とするため参加者確保のため両協会で努力する。

(6) 応募開始日は29年1月5日とする。前段階で年内にこの行事について案内を出しておく。

(7) 参加者

(一社)設備設計協会側：佐野 山森 川端

(一社)静岡県設備協会側：鈴木 今井 遠藤 篠崎 福島(事務局)

事務連絡
平成28年12月15日

(一社)静岡県設備設計協会
正会員様

(一社)静岡県設備設計協会
会長 三ツ井幹雄
技術委員長 佐野富士雄

平成28年度視察研修事前のお知らせ

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、(一社)静岡県設備協会との共同事業の一環として、今年度は視察研修を計画いたしました。

皆様のスケジュールの都合上、事前にお知らせいたします。正式には年明けに参加の申し込みを承ります。お忙しい時期ではございますが、設備業界の方々と親睦を図れる唯一の行事で毎回、好評を博しております。正会員の方々には是非、多くのご参加をお願い申し上げます。

記

- 日程 : 平成29年2月24日(金)～2月25日(土)
- 行先、研修先 : 和歌山県和歌山市
三菱電機(株) 冷熱システム製作所

2月24日(金)	8:00	静岡駅 出発 途中乗車していきます
	15:00～16:30	三菱電機(株) 冷熱システム製作所見学 和歌山市内宿泊(シングル部屋)
2月25日(土)	8:30	ホテル出発
	9:00	(株)中野BC(酒蔵見学&試飲) 見学
	～13:00	東大寺、奈良公園見学
		途中下車していきます
	～19:00	静岡着

- 参加費は、正式な案内文にてご案内いたしますが、ご負担を少しでも軽くするために協会より補助金が出ます。

皆様のご参加をお待ちしております。

平成28年度共同事業視察研修予算書

・1人当たりの参加費用 33,000円

収入

参加費	@18,000×10名=180,000円
協会補助額	@15,000×10名=150,000円
計	<u>330,000円</u>

支出

バス代等	@12,000×10名=120,000円
(バス代、ガイド料、高速代、駐車代、保険料等)	
宿泊代(朝食付)	@10,000×10名=100,000円
食事代	@8,500×10名=85,000円
その他	@2,500×10名=25,000円
計	<u>330,000円</u>

*上記は正会員10名参加の場合で計算しています。

協会補助額は一人当たり15,000円は確保させていただきます。

「風とあかり」第38号配布と部数について

- ・ 発送日 8月9日 (ヤマトDM便)
- ・ 印刷数 1, 400部
- ・ 発送箇所 1, 035箇所
- ・ 配布数 1, 249部
 - ①ヤマトDM便にて送付分 1, 228部
 - ②広告掲載社へ送付分 19部
 - ③寄稿者へ送付 1部
(浜松市エネルギー政策課)
 - ④追加希望者へ送付 1部
- ・ 在庫数 151部
- ・ 送付後住所変更により返送 3箇所
(その後新住所へ送付)
中遠ガス(株)・(株)ODAMAKI・加茂設計室
- ・ 送付中止要請 2箇所
静岡県立大学短期大学部図書館
理由 収蔵スペースの事情
伊豆の国市立長岡図書館
理由 休館の為

広報誌「風とあかり」第38号科目別収支一覧表

平成28年10月3日

単位（円）

収 入

・広告収入 860,000（19社）

支 出

科 目	金 額	備 考
交通費	54,000	委員会交通費 54,000
飲食費	36,917	委員会お茶代 917 昼食代 16,000 反省会費 20,000
通信運搬費	93,068	広告料請求書送付(広報誌1冊+請求書) 6,840 @360×19社 広報誌送付代(DM便) 84,788 浜松市寄稿の課、新会員送付代 1,440
印刷費	933,626	広報誌1,400部 884,520 送付状1,200部 9,396 封筒 1,000枚 19,710 表紙絵、挿絵デザイン料 20,000
委託費	16,738	じゃんぷ 発送委託料 16,738
雑費	1,500	セロテープ1箱 1,500
合計	1,135,849	

予算額 執行額 差額
 1,041,000-1,135,849= △94,849

・年度別の比較

収入の部

年度	予算額	決算額	差 額
26年度	700,000	1,020,000	320,000
27年度	1,000,000	1,440,000	440,000
28年度	700,000	860,000	160,000

支出の部

	予算額	決算額	差 額
26年度	1,092,000	1,000,290	91,710
27年度	1,142,000	1,512,851	△370,851
28年度	1,041,000	1,135,849	△94,849

(一社)静岡県設備設計協会

平成28年度 第3回 特別委員会 議事録 第3回

日 時	平成28年11月21日 (月)		15:30~18:00		協会事務所	記録	手塚
出席人数	○ 手塚	○ 長田	× 山本	○ 後藤	○ 斎藤	× 辻	○ 山森
5/7人出席							
特別委員会の中間報告をまとめてみる							
報告事項							
1 年頭に会長のスローガン	協会員が同じ方向を向く為の組織を引っ張る強いスローガンが必要。						
2 天野顧問を囲む会	協会の意図を政治的にも伝えてほしいので年に一度はこのような会を開き意見を聞いてもらう。						
3 正会員の会	賛助会員の居ない所での意見交換も必要。正会員だけの為の、懇親会を開いて何でも話し合う。						
4 スタッフ会議	代表者ではなく、若年者からの意見をくみ取る為社員同志の交流会を開いて意見交換を試みる。						
5 講師の派遣	業界の発信及び雇用機会を増やす為にも県の機関、学校等へ講師を派遣して設備の理解を得る。						
6 建築事務所との交流	建築設計への協力と設備設計への理解が必要。						
7 全県内指名共通方式	県に指名願いを提出する事で市町への通達を可能にする。						
8 (県指名願い内容検討) 協会員増員計画	県協会員でなければ、損保等に参加できない仕組みを作り設計損保、退職金組合等に参加しないと指名権が得られないようにする事と、横取り防止の為にも。						
9 執行部の強烈なリーダーシップ	更なる努力をお願いします。						
10 足並みをそろえる	全会員、県に指名願いを提出すること。建築設備士の取得に努力すること。						

地区会報告について

1 報告期間

平成28年7月16日から平成28年12月2日まで

2 報告内容

（1）東部

（2）中部

○第2回中部地区会

・平成28年7月23日（土）

○第3回中部地区会

・平成28年9月10日（土）

（3）西部

平成28年度 第2回

中部定例会 記録

記録

(2班)
山森

日時 平成28年7月23日(土) 13:30~

場所 協会事務局

出席人数	1班	三ツ井	山本	甲斐	名波	川端	泊		
6人	2班	コバヤシ	モア	Souken	山森	後藤			
/11人									
55%									

1. 前回議事録の確認(川端) 平成28年 5月 14日(土)開催分
2. 理事会の報告(山森) 平成28年 7月 15日(金)開催分

※日設協が今後連合会設立の為、当協会へ加入要請が来ている事を説明した。
9月10日の中部地区会で改めて会長より詳細説明が有りますので、当日に中部地区の意見をまとめる予定です。(全員の出席を希望します。)

3. 委員会報告

■ 総務委員会 (名波)

- ・9月9日予定の県との意見交換会の日程が変わります。後日改めて連絡します。
- ・今年の忘年会は東部方面で予定しています。日程は12月2日~3日(1泊)で決定しました。

■ 技術委員会 (川端)

- ・なし

■ 広報委員会 (甲斐)

- ・広報誌「風とあかり」は8月中旬頃、配達される予定で進めています。

■ 特別委員会 (山森)

- ・アンケートを取りましたので、今後まとめて報告する予定です。

4. その他

- ・H28年 6/7(火)の清水無料相談は、案件がありませんでした。
- ・H28年 7/5(火)の清水無料相談の担当は、川端さんと甲斐さんでしたが、案件がありませんでした。
- ・H28年7/15(金)セツビクラブ例会を開催
出席者：正会員(11名)、賛助会員(75名)、来賓(1名)
川端さんより会計報告がありました。残金は川端さんが預かっております。
- ・無断欠席は無くしましょう。
- ・議事録は定例会終了後10日以内に事務局へ送るので、記録の方は速やかに地区幹事まで清書を送って下さい。
- ・中部定例会等メールの返信を求められたら、必ず返信してください。

※次回開催日 平成28年 9月10日(土) 15:00より(終了後懇親会予定) 協会事務局

平成28年度 第3回

中部定例会 記録

記録

山本

日時 平成28年9月10日(土) 15:00~

場所 協会事務局

出席人数	1班	三ツ井	山本	甲斐	名波	川端	泊		
10人	2班	コバヤシ	モア	Souken	山森	後藤			
／11人									
91%									

1. 前回議事録の確認(川端) 平成28年 7月 23日(土)開催分
2. 理事会の報告(山森) 平成28年12月2日(忘年会時)に開催予定

3. 委員会報告

■ 総務委員会(名波)

- ・12月2~3日 ホテルパルメクラブ(熱海)にて忘年会を開催します。会費は20,000円を予定。詳細案内は10月にメールにて送付します。多数の参加をお願いします。
- ・10月7日 静岡県設備課との意見交換会を開催します。提案議題または要望事項の提出締め切り日は9月5日ですが、9月12日の週まで受け付けます。

■ 技術委員会(小林)

- ・10月28日 パガサートにて技術講習会を開催します。詳細案内は9月20日付近にメールにて送付します。

■ 広報委員会(後藤)

- ・10月7日に広報委員会を行います。
- ・今後、広報誌に”事務所紹介”の記事を追加したらどうか。(名波)

■ 特別委員会(山森)

- ・特になし。

4. その他

- ・H28年 10/4(火)の清水無料相談担当は、機械:後藤さん、電気:中村さんです。よろしくお願いします。
- ・日本設備設計協会連合会の参加・未参加について、中部地区としては参加の意思とします。詳細は別途打ち合わせにより今後決めていく。
- ・議事録は定例会終了後10日以内に事務局へ送るので、記録の方は速やかに地区幹事まで清書を送って下さい。
- ・中部定例会等メールの返信を求められたら、必ず返信してください。

※次回開催日 平成28年 12月 16日(金) 18:00より
(忘年会を兼ねて行います。場所は未定)

(一社)静岡県設備設計協会

平成28年度 西部地区会 議事録 第3回

日 時	平成28年11月25日 (金)		18:00~20:00		あさくま鹿谷	記録	手塚	
出席人数	○ 伴	○ 杉山	○ 手塚	○ 神谷	○ 鈴木	○ 斎藤	× 大塚	○ 辻
8/9人出席	○ 赤堀							
1 オフィス a k (赤堀智和氏) 入会歓迎								
本人からの入会のあいさつ有り 歓迎の食事会を行った。								
2 新入会員増員について								
西部地区方面で、入会してもらいたい同業者がいるか 今のところ無し。								
3 特別委員会報告								
11月21日 (月) に行った内容を発表した。 特に意見は無し。								
4 忘年会・新年会について								
忘年会 12月2日 (金) 熱海ホテル サンミクラブー泊 西部地区~大塚・杉山・手塚の3名出席予定								
5 団体新年賀詞交歓会								
1月20日 (金) ホテルアソシエ 多数の出席をお願いした。								
5 その他								

協会経理について

時 期	普通預金	手元現金
平成28年4月末	6,049,486	112,112
5月末	5,448,510	149,047
6月末	5,329,078	122,282
7月末	5,052,135	105,995
8月末	4,205,567	91,555
9月末	4,320,359	96,786
10月末	3,796,863	72,172
11月15日現在	3,744,863	114,530

執行額

時 期	今年度(28年度)	昨年度(27年度) (50周年経費を除く)	昨年度(27年度) (50周年経費を含む)
4月	655,686	809,970	815,970
5月	1,521,082	1,116,395	1,116,395
6月	361,054	356,971	356,971
7月	411,639	438,165	438,165
8月	1,275,585	352,924	352,924
9月	380,747	570,274	579,274
10月	549,050	414,710	426,398
小 計	5,154,843	4,059,409	4,086,097
11月		1,597,789	3,667,912
12月		380,217	1,602,319
1月		804,372	804,372
2月		354,828	354,828
3月		378,369	378,369
年度計		7,574,984	10,893,897

関係団体からの招待依頼・会議等出席状況(平成28年度)

番号	受付日	開催・訪問日	行事	出席者
1	3月28日(月)	4月25日(月)	(公社)日本建築家協会東海支部静岡地域会2016年度通常総会のご案内	三ツ井会長
2	4月4日(月)	5月19日(木)	(一社)静岡県電業協会第5回定時総会のご案内	三ツ井会長
3	4月13日(水)	5月25日(水)	(一社)静岡県設備協会第4回定時総会のご案内	三ツ井会長
4	4月13日(水)	5月12日(木)	第52回静岡県設備協会中部支部総会のご案内	植田副会長
5	4月15日(金)	5月12日(木)	特定非営利活動法人静岡県建築物安全確保支援協会第1回理事会の開催について	三ツ井会長
6	4月26日(火)		衆議院議員「井林たつのり君を育てる会」のご案内	欠席
7	4月26日(火)	6月3日(金)	(一社)静岡県建築士事務所協会平成28年度総会のご案内	植田副会長
8	5月2日(月)	6月7日(火)	(一社)静岡県浄化槽協会第3回定時総会のご案内	山森専務理事
9	5月2日(月)	6月10日(金)	(公社)静岡県建築士会平成28年度定時総会のご案内	三ツ井会長
10	5月9日(月)		「自民党静岡三区支部大会」「宮澤博行後援会大会」	欠席
11	5月12日(木)		片山さつき静岡県総決起大会開催のお知らせ	欠席
12	5月18日(水)	6月2日(木)	(一社)静岡県フロン回収事業協会第13回通常総会のご案内	三ツ井会長
13	5月19日(木)	6月16日(木)	特定非営利活動法人静岡県建築物安全確保支援協会平成28年度通常総会のご案内	三ツ井会長
14	5月26日(木)		衆議院議員「城内みのる君と語る会」開催のご案内	欠席
15	5月26日(木)	6月17日(金)	(一社)静岡県冷凍空調工業会法人化30周年記念式典御臨席のお願い	三ツ井会長
16	5月27日(金)	6月3日(金)	静岡県厨房設備業協会平成28年度第43回定時総会開催のご案内	三ツ井会長
17	6月13日(月)		第24回参議院選挙各種友好団体総決起大会開催について	欠席
18	7月13日(水)		衆議院議員「城内みのる君と語る会」開催のご案内	欠席
19	7月13日(水)	7月29日(金)	建築関係団体新年会団体代表者打合せ会	三ツ井会長
20	7月15日(金)	7月25日(月)	衆議院議員「望月義夫を励ます会」	三ツ井会長
21	8月3日(水)	9月28日(水)	まちみがきセミナーのご案内(静岡市田辺市長 市政報告)	三ツ井会長、山森専務理事
22	8月16日(火)	10月14日(金)~ 15日(土)	第22回北陸・甲信越・中部ブロック協議会開催のご案内	三ツ井会長、植田副会長
23	8月24日(水)	10月19日(水)	針谷建築事務所70周年記念式典	植田副会長
24	9月5日(月)	10月14日(金)	自民党静岡県支部連合会「党员・党友の集い」のご案内	山森専務理事、小林相談役
25	9月12日(月)		(一社)鹿児島県設備設計事務所協会設立30周年記念祝賀会のご案内	欠席
26	9月14日(水)		藪田宏行静岡県議会副議長就任を祝う会のご案内	欠席
27	10月12日(水)	11月25日(金)	天の一県政報告会と親睦会のお知らせ	三ツ井会長、植田副会長、山森専務理事
28	11月16日(水)	H29 2月13日(月)	国土交通省中部地方整備局営繕部との意見交換会開催について	
29	11月21日(月)		片山さつき政経セミナーin浜松	欠席
30				
31				

静岡県ZEB等技術力向上講座について

静岡県は、省エネルギー性能の高い建築物の普及を促進しており、先進的な業務用ビル等（ZEB（ビル内のエネルギー使用量が正味でほぼゼロとなるビル））の実現と普及を図るとともに、県内の建築・設備設計担当者等を対象に、ZEBに関する知識と技術力をもった人材を育成することを目的とした講座の開催をする。

○受講対象

- ・ 関係団体から推薦を受けた県内の建築・設備設計担当者等
- ・ 4回全て出席できる方

○定員 30名程度

○受講内容 1講座 全4回

以上の講座開催について

講座開催案内を10月11日に正会員あてメールにて案内いたしました。



植田氏、小林氏、後藤氏、泊氏、神谷氏、大塚氏 6名から受講希望があり、10月27日に県環境政策課へ申込みをしました。



11月4日県環境政策課より申込をした6名の受講が認められました。



11月7日県環境政策課より各受講希望者へ受講決定の案内がありました。

第1回講座 11月29日 第3回講座 1月31日

第2回講座 12月16日 第4回講座 2月23日

分煙技術支援事業について

10月6日 静岡市内の飲食店より分煙相談依頼があり、10月15日に山森氏が相談者の元に伺い分煙の相談を受けました。

国土交通省中部地方整備局営繕部との意見交換会について

開催日時 平成29年2月13日（月）15:00～16:30
開催場所 中部地方整備局 会議室
議事内容 （１）各県協会における最近の状況について
（２）中部地方整備局からの情報提供
（３）意見交換会

正会員会員年数、役員年数調査表（会員年数は平成28年11月 役員年数は平成28年度まで）

番号	会員名	代表者	入会年月	創立年月	会員年数	会長	副会長	専務理事	理事	監事	役員年数
1	MEサポート	佐野富士雄	H18.5		10.6				H24～		5
2	㈱ビー・コンセプト	泊 真吾	H24.5		4.5						
3	ウエダ建築設備事務所	植田賢司	H4 *2	S63.5	24.7		H18～19 H27～	H16～17	H14～15 H26	H24～25	11
4	環設備設計事務所	山本晋也	S55.4～H8.5 H13.4～	S54.1	31.7						
5	佐々木設備設計事務所	佐々木哲男	S60.6～H3 H6.4～	S58.8	28.2			H20～21	H11～12 H16～19		8
6	志賀建築設備設計事務所	志賀正紀	S43.4	S41.10	48.7	H3～13	S59.9～H2		S50～59.8		27
7	杉山設備設計事務所	杉山 敬	S48.5	S47.2	43.6						
8	設備設計KAI	甲斐裕士	H18.6		10.5				H28～		1
9	総合建築設備設計事務所Souken	中村健一	H9.6		19.5					H26～	3
10	ツジシステムデザイン	辻 信之	H26.11		2						
11	ナナミ電気設計	名波睦生	H5.10	H4.5	23.1				H16～17 H24～		7
12	山森建築設備設計事務所	山森 繁	H2.4	S63.5	26.7		H22～23	H24～	H18～21		11
13	㈱PLAN-Gエンジニアリング	後藤利基	H21.9		7.2						
14	㈱エスエスシー	齊藤隆幸	H18.8	S64	10.3				H24～26		3
15	㈲アドイン設計	三ツ井幹雄		S56.3	30年以上	H24～		H14～15 H18～19	H11～12		11
16	㈱セイワ設計	手塚正一	S54.4	S53.2	37.7	H14～21	H9～13		S58～H2 H5～8		25
17	㈱パブリック設備研究所	伴 賢二	S40.4	S39.9	51.7	S59.9～H2	S50～59.8		S40～49 H3～13		37
18	㈲オサダ設計	長田武士	H21.10		7.1						
19	㈲コバヤシ設備設計事務所	小林康秀	S61.1	S61.1	30.10	H22～23	H11～12 H20～21	H14～17	H13	H8～10	14
20	㈲セイブ設備計画	神谷保孝	S54.4	S53.4	37.7				H7～10 24～26	H	7
21	㈲総合設備計画事務所	川端猛真	S54.4	S51.4	37.7						
22	㈲ナガノ設備設計事務所	永野靖子	S54.4	S48.4	37.7				H22～23		2
23	㈲モア設備設計事務所	村松 宏	H4.11	H1.4	24					H27～	2
24	㈲洋設計システム	鈴木洋之	H1.5	H1.4	27.6				H18～21		4
25	㈱フレームアーツ	大塚 優 (担当者)	H25.4	H21.7	3.7				H27～		2
26	オフィスak	赤堀智和	H28.8		0.3						